

② 公開実用新案公報 (U) 平3-7602

⑤ Int. Cl.<sup>8</sup>

識別記号

庁内整理番号

③ 公開 平成3年(1991)1月24日

H 02 B 1/30  
B 60 R 16/02

B

7443-3D  
6846-5G

H 02 B 1/08

N

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全2頁)

④ 考案の名称 配電箱の取付ガタ防止構造

① 実 願 平1-68091

② 出 願 平1(1989)6月13日

⑦ 考 案 者 堂 下 憲 一 静岡県御殿場市川島田252 矢崎部品株式会社内

⑦ 出 願 人 矢崎総業株式会社 東京都港区三田1丁目4番28号

⑦ 代 理 人 弁理士 滝野 秀雄

⑥ 実用新案登録請求の範囲

(1) 一方の配電箱に一对のガイド溝を設け、他方の配電箱に対し、該一对のガイド溝に対する嵌合板を設けて成る配電箱の取付ガタ防止構造において、前記嵌合板の中央にスリットを設けて該嵌合板の幅方向に可撓性を有する一对の可撓片部を形成し、該一对の可撓片部の全幅は前記一对のガイド溝の幅よりも大なることを特徴とする配電箱の取付ガタ防止構造。

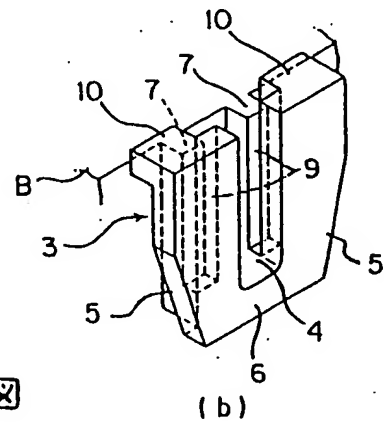
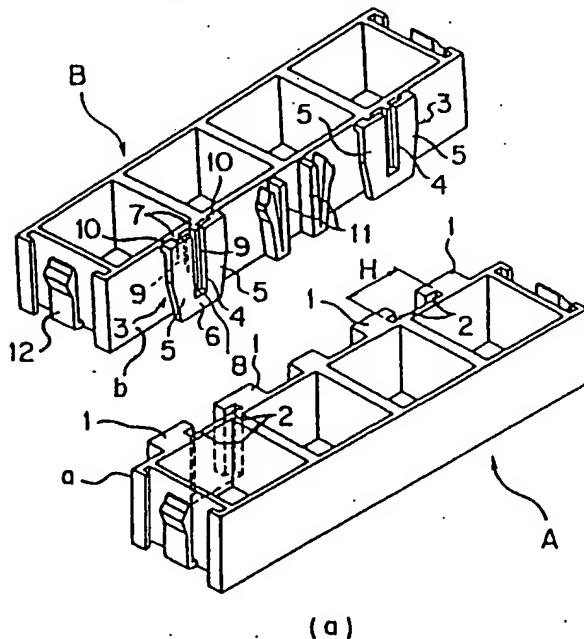
(2) 前記他方の配電箱に対し、一对のガイドリブを突設し、該ガイドリブに対向して前記可撓片部を連成して該ガイドリブと可撓片部の間にスリット部を形成し、該可撓片部は前記嵌合板の厚さ方向に可撓性を有して成る請求項(1)記載の

配電箱の取付ガタ防止構造。

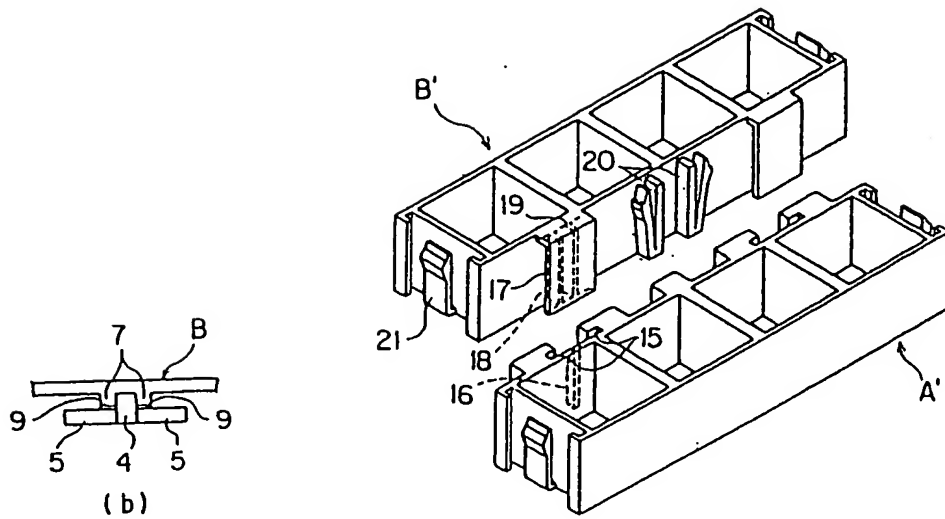
図面の簡単な説明

第1図 a は本考案の一実施例を示す分解斜視図、b は a の要部拡大斜視図、第2図 a はその嵌入前の状態を示す要部縦断面図、b は a の C-C 断面図、c は a の D-D 断面図、d は嵌入後の状態を示す要部縦断面図、e は d の E-E 断面図、f は d の F-F 断面図、第3図は従来例を示す分解斜視図、第4図 a はその嵌入後の状態を示す要部縦断面図、b は a の G-G 断面図である。

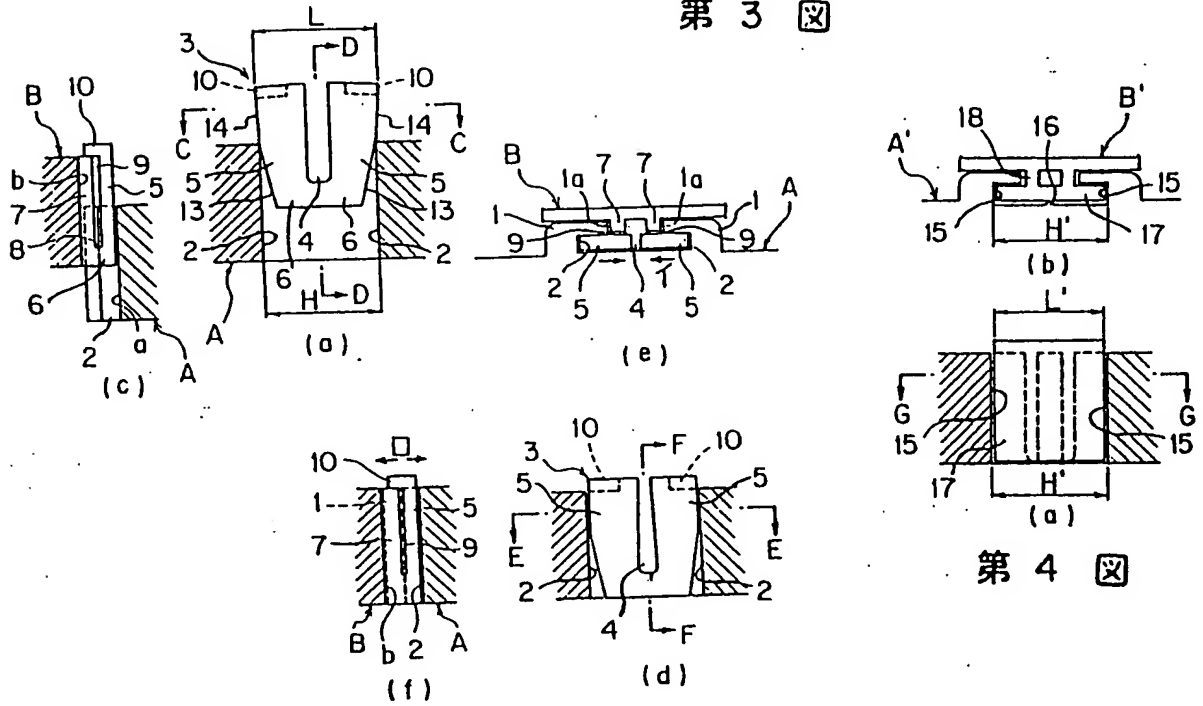
A、B……リレーボックス、2……ガイド溝、3……嵌合板部、4……スリット、5、5……一对の可撓片部、7……ガイドリブ、9……スリット部、L……自由幅寸法、H……ガイド溝幅。



第 1 図



第 3 図



第 4 図

第 2 図